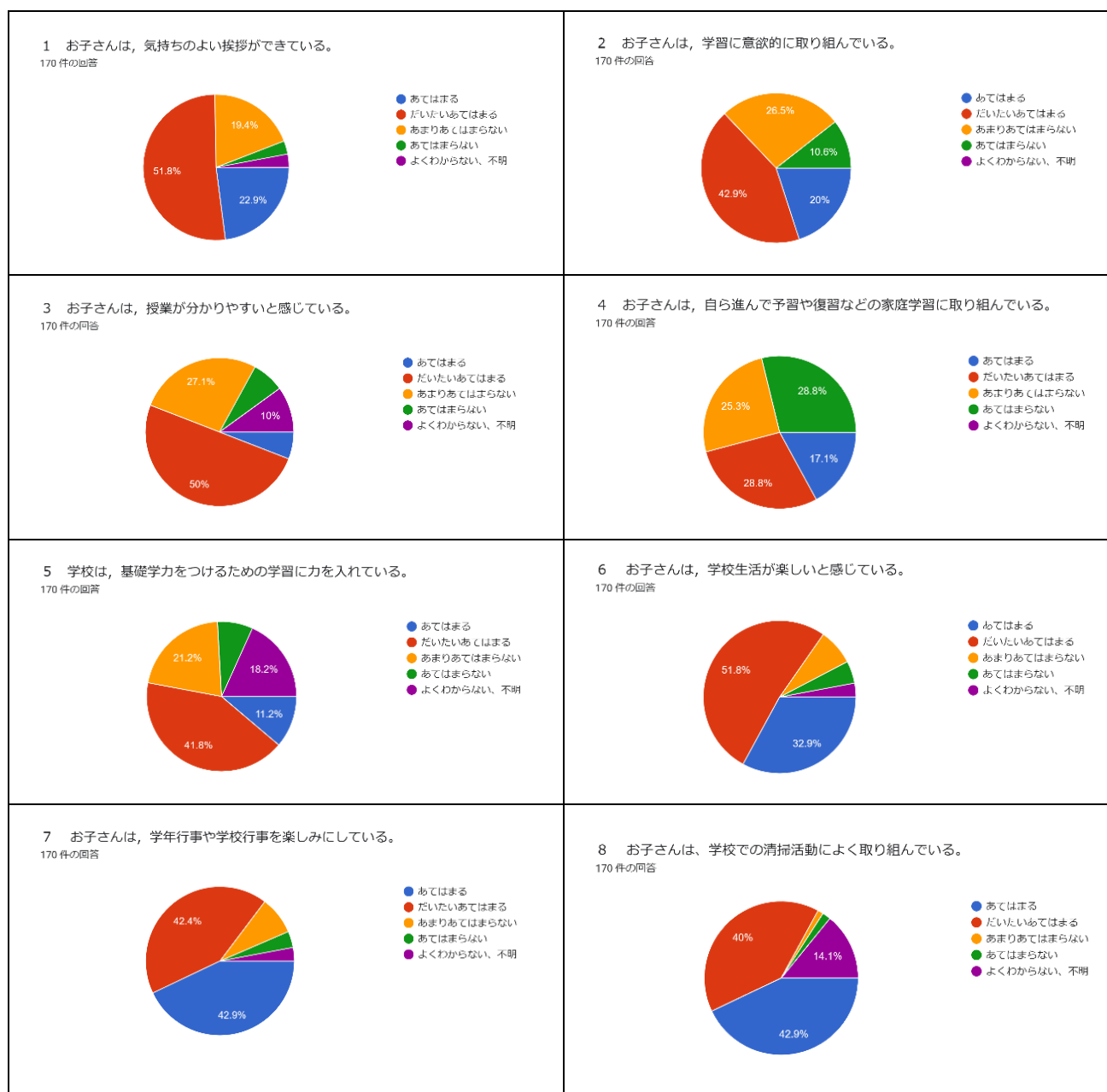
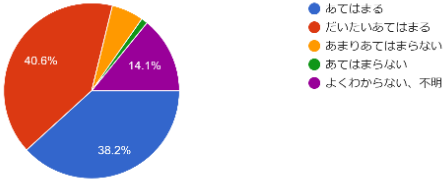
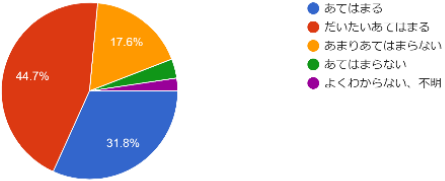
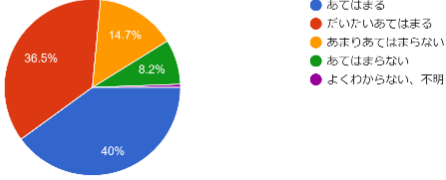
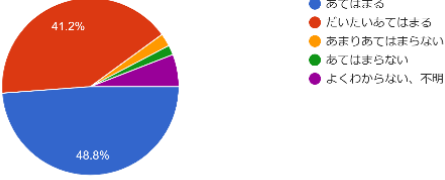
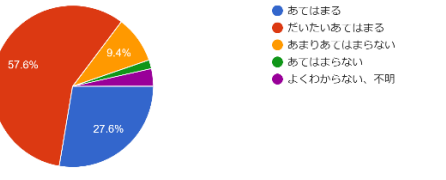
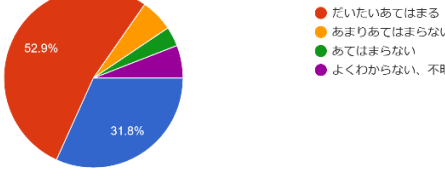
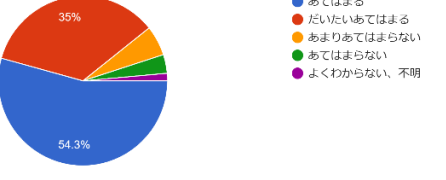


R6学校評価アンケート結果まとめ <保護者>

【評価項目】

- 1 お子さんは、気持ちのよい挨拶ができています。
- 2 お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。
- 3 お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。
- 4 お子さんは、自ら進んで予習や復習などの家庭学習に取り組んでいる。
- 5 学校は、基礎学力をつけるための学習に力を入れている。
- 6 お子さんは、学校生活が楽しいと感じている。
- 7 お子さんは、学年行事や学校行事を楽しみにしている。
- 8 お子さんは、学校での清掃活動によく取り組んでいる。
- 9 先生は、お子さんの良い点やがんばったことを認めてくれる。
- 10 お子さんは心配事や困ったこと、悩みなどをお家の方によく相談している。
- 11 お子さんは、よく学校のことや友達のことについてお家の方に話している。
- 12 お子さんは、交通ルールやマナーを守り、安全に登下校ができています。
- 13 通信(おたより)やホームページ等で、学校の活動や生徒の様子が分かりやすく発信されている。
- 14 お子さんは、ありのままの自分を認め、自分の存在を大切にしている。
- 15 お子さんは、部活動に目標をもち、友達と楽しく取り組んでいる。(入部者のみ)



9 先生は、お子さんの良い点やがんばったことを認めてくれる。 170 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明	10 お子さんは心配事や困ったこと、悩みなどをお家の方によく相談している。 170 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明
11 お子さんは、よく学校のことや友達のことについてお家の方に話している。 170 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明	12 お子さんは、交通ルールやマナーを守り、安全に登下校ができています。 170 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明
13 通信(おたより)やホームページ等で、学校の活動や生徒の様子が分かりやすく発信されている。 170 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明	14 お子さんは、ありのままの自分を認め、自分の存在を大切にしている。 170 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明
15 お子さんは、部活動に目標をもち、友達と楽しく取り組んでいる。(入部者のみ) 140 件の回答  - あてはまる - だいたいあてはまる - あまりあてはまらない - あてはまらない - よくわからない、不明	

<まとめ>

◆昨年度よりも多くの保護者の方に提出していただき、有り難かった。

◆「学習に意欲的に取り組んでいる」「授業がわかりやすい」という質問に対して、否定的な意見が約 40%になっている。約 40%の生徒が、授業に対して「わかりにくい」と感じており、保護者の方の約 40%は子どもが学習に対して「意欲的ではない」と返答していることが分かる。【項目 2. 3】さらに家庭学習については 50%以上の家庭で「自ら進んで取り組むことができていない」という返答があり学校が十分な指導を行うことができていないという意見も多い。【項目 4. 5】

また、記述欄にも「学習内容定着度へ不安」や「家庭学習習慣の未定着」について多くの意見が出されている。この数値は昨年度よりも高くなっており、早急な授業改善と学習習慣への指導が必要になっている。

◆約 80%の生徒が「学校は楽しい」「行事が楽しみ」という思いをもっているが、約 10%の生徒はそう感じていないことも分かる。学校行事も含め、日常から生徒の様子に気を配り、思いに耳を傾けることができる職員集団でありたい。【項目 6. 7】

◆家族に、「心配事や悩みを相談している」「学校や友だちのことを話す」という質問に対し、そうではないという返答が約 25%ある。【項目 10. 11】難しい年頃と言われる中学生年代ではあるが、子どもたちが不安や悩みを一人で抱えることがないよう、家庭と学校で連携をとりながら、サポートしていくことが大切。